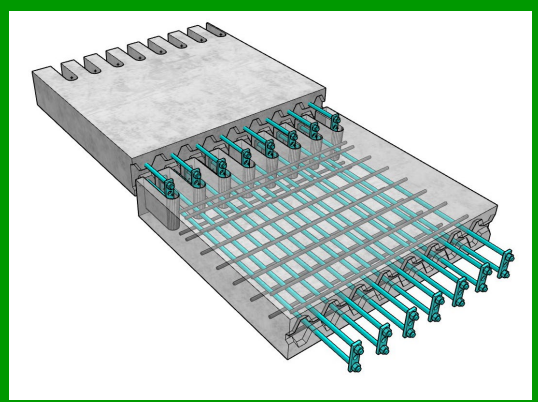


TAP-ONEジョイント

定着プレートと鉄筋を用いた
プレキャストPC床版の接合技術

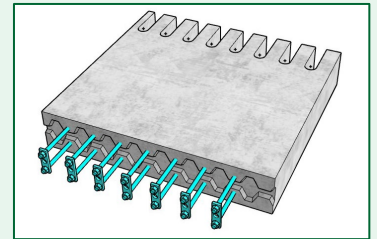
NEXCO試験法442 合格



特許第7881799号
商標出願中

工法の概要

TAP-ONEジョイントは、突出した定着プレート付き鉄筋を溝に収めてモルタルにより一体化するプレキャスト床版の橋軸方向の接合技術です。突出鉄筋を溝に入れながら床版を吊り降ろし、簡易な型枠を設けて無収縮モルタルを流し込むだけのシンプルな施工が特徴です。
工事現場での鉄筋作業が不要で、型枠作業やコンクリートの打込み・締固め作業等の負担が軽減されます。

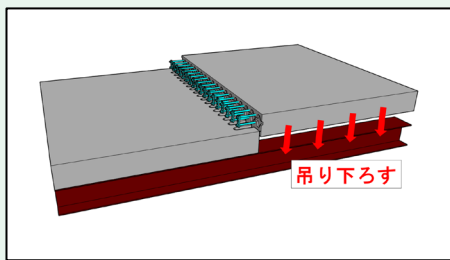


項目	従来工法（ループ継手）	TAP-ONEジョイント
鉄筋組立	必要	不要(100%減)
充填材	コンクリート 多	無収縮モルタル 少(約70%減)
型枠	大	小(約30%減)

工法の特徴

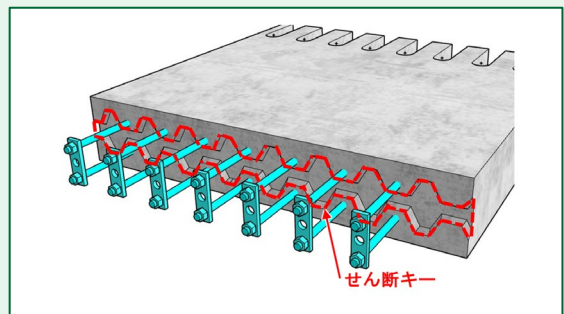
■ 施工性の向上

吊り降ろしてモルタルを充填するだけで、現地での鉄筋組立が不要のシンプルな施工手順となっており、型枠工やコンクリート打設の省力化が可能です。



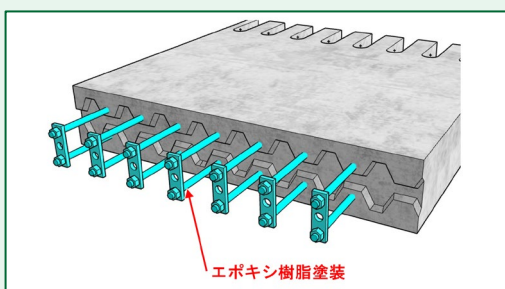
■ せん断耐力の確保

接合面にせん断キーを設けることで、接合部のせん断耐力を確保しています。



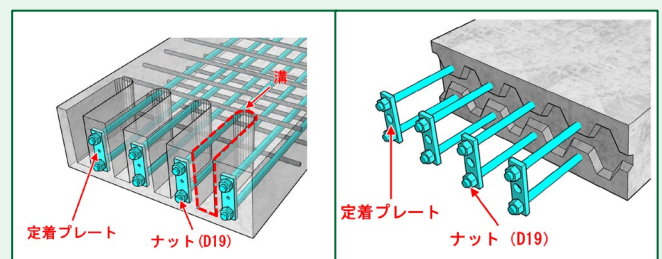
■ 耐久性の確保

本工法で使用する鉄筋はエポキシ樹脂塗装にも対応しているため、塩害環境下においても適用可能です。



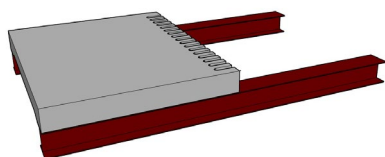
■ 曲げ耐力の確保

定着プレートを用いることにより、接合部の曲げ耐力を確保します。



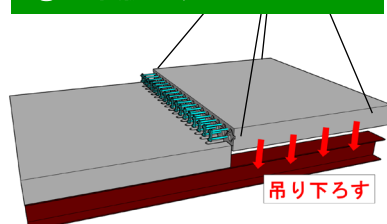
施工方法

① 先行床版の設置



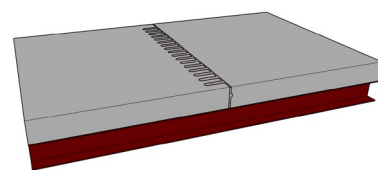
溝側が先になるように床版を仮設します。

② 床版の建て込み



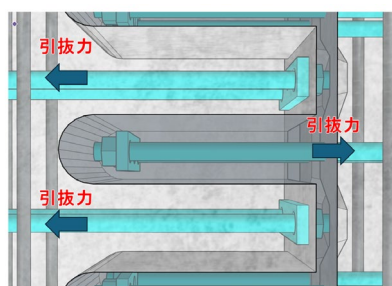
突出側床版を吊り、溝に落とし込むように設置します。

③ モルタル充填

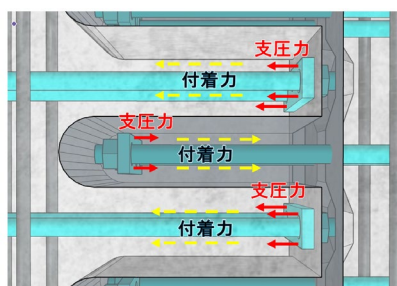


溝に無収縮モルタルを充填し一体化します。

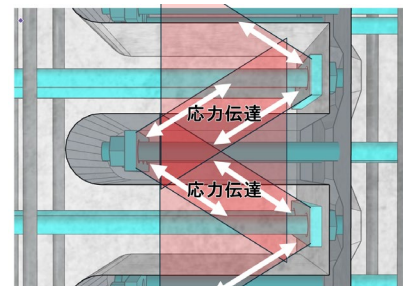
耐荷メカニズム



継手部に曲げ応力が生じると鉄筋が引き抜けようとする力が発生します。



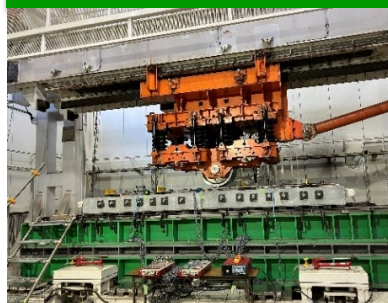
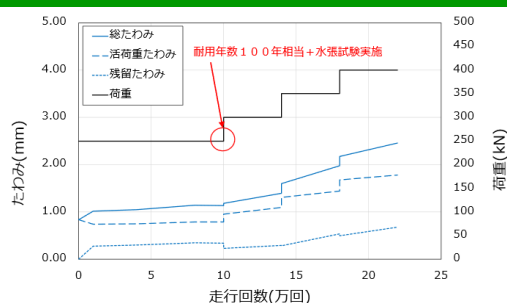
鉄筋端部に取り付けた定着プレートの支圧力と鉄筋の付着力により引抜力に抵抗します。



定着プレート付き鉄筋に生じた応力は、モルタル、コンクリートを介して相互に伝達されます。

性能確認試験

■ 輪荷重走行試験



道路橋プレキャスト床版として必要な疲労耐久性試験に合格
100年相当以上の疲労耐久性を有することを確認しました。
(NEXCO試験442に準拠)

■ 水張試験



100年相当の輪荷重走行後、
下面より水漏れしないことを確認
しました。
(NEXCO試験442に準拠)

●お問い合わせ先

土木事業本部 技術統括部 技術推進部 技術管理グループ

〒150-8340 東京都渋谷区渋谷1-16-14 渋谷地下鉄ビル内

TEL : 03-5466-5272 FAX : 03-5466-6058 E-Mail : doboku-info@tokyu-cnst.co.jp